

**問** 教育にかかる私費負担の補助を

教育にかかる費用の私費負担が大変大きな額である。学校指定品といわれる用品は決められた店でしか購入できない。価格の低下と販売店の拡充、更にそれらの購入経費の補助ができないかを伺う。

**答** 就学援助制度を活用し対応していく

学校制服等の指定品は市衣料品小売組合を通じ製造販売がされている現状を考慮すると、販売店の拡充は困難である。児童生徒の就学に係る保護者の負担軽減は重要であり、経済的理由で学校教育費の負担が困難な保護者には、就学援助制度を活用し対応していく。



中川幸廣 議員  
(白岡ビジョン)

**問** 孤独死の状況と独居高齢者の対応を伺う



孤独死は近年多くなっている。市内での孤独死の例はあるのか。また、孤独死に至りやすい独居高齢者は何人おられ、市としてのその方々に対する対応はどのようになされているのか伺う。

**答** 孤立する方の把握や見守り支援に努める

近年市が把握する孤独死の例は2件である。独居高齢者数は、昨年度の在宅要援護高齢者調査の結果で1441人であった。市では、高齢者福祉サービスの実施など高齢者が安心安全に生活できるよう、地域で孤立しがちな方々の把握や見守り、支援に努めていく。

**問** 命を守るAEDの普及と使用は

女性にAEDを使用する場合にためらってしまう。配慮をするためにも、胸部を覆う三角巾を本体に備えてはどうか。また、新型コロナウイルス感染症の状況下では、感染予防を考慮した心肺蘇生法の注意点がある。市民に周知が必要ではないか。

**答** AEDの普及、適正使用の推進に努める

男性と女性で救命活動に差が生じないように、プライバシー確保のためにAEDに三角巾を順次備え付けていく。また、感染症の流行を踏まえた救急蘇生法については、埼玉東部消防組合で実施している救命講習会で説明しており、今後も連携して周知に努める。



菱沼あゆ美 議員  
(公明党)

**問** 水管橋の状況は



水管橋(高岩)

水管橋とは、水道管が河川を渡るためのもので、大切なライフラインである。市内にいくつあるか。老朽化や災害による破損などに備えて、保守点検や維持管理が重要である。万が一、破損した場合の断水などのリスクはどうなるのか。

**答** 維持管理が重要であると認識している

水道管が河川を渡っている箇所は81カ所ある。水管橋が破損しても他の管路で補完できるため大規模な断水が発生することはない。定期点検の実施により、早期に異常を発見し対策していく予防保全型の維持管理を行うことで漏水事故等の防止に努めていく。